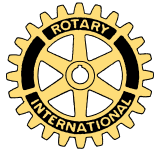


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2025～2026年度 国際ロータリー フランチャイスク・アレックス 会長テーマ

UNITE FOR GOOD よいことのために手を取りあおう

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 近藤 純子
幹事 加藤 大志朗
会報委員長 杉浦 守康

第3312回例会プログラム

[当年度=32回目；当月=3週目]

2026年（令和8年）5月18日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……………
それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 会長挨拶並びに会長報告
7. 刈谷市中央図書館へロータリー文庫贈呈
(社会奉仕委員会) ……
刈谷市中央図書館
館長 戸松 昭則 様
小堤西池のカキツバタを守る会へ支援金
贈呈 (社会奉仕委員会) ……
カキツバタを守る会
会長 近藤 孝明 様
副会長 近藤 修 様
8. 新会員挨拶……………谷口 寛治 会員
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(5/25) ……
卓話
講師 エステー株式会社
取締役会議長兼代表執行役社長
上月 洋 様
(紹介者 嶋津 孝久 会員)
(6/1) ……
新会員アワー 松島 章高 会員
" 中島 亮 会員

2. クラブフォーラム……………〈青少年奉仕委員会〉

13:00 ・ご挨拶

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

- ・刈谷ロータリークラブ様と音楽協会のご縁
 - ・学校訪問コンサートの経過と現状
- 刈谷音楽協会 前理事長 加藤美代子 様
- ♪演奏 春の歌 メンデルスゾーン作曲 無言歌集より
♪演奏 白鳥 サンサーンス作曲「動物の謝肉祭」より
♪演奏 日本の叙情歌メドレー 浜辺の歌 椰子の実 臘月夜
- ・音楽の力
- ♪演奏 あの素晴らしい愛をもう一度
岸 祐梨子 様 (電子ピアノ)
新野 智子 様 (フルート)
宮田 香里 様 (事務局)
(紹介者 新海 伸二 会員)
14. 謝辞
15. 点鐘……………〈会長〉
16. 閉会宣言
13:30 17. 散会

出席席

会員総数 96名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 11名 出席率 87.5%
前々回 (4/20) の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 本日、谷口寛治会員が入会されましたので会員数を96名と訂正致します。谷口寛治会員は会場委員会の配属となります。

委員会報告

●親睦活動委員会



古希のお祝い 近藤 純子 会長

ゲ ス ト



米山奨学生 ゲン コン カン さん

会長あいさつ

近藤 純子



皆さん、こんにちは。5月とはいえ、急に暑くなってまいりました。朝夕の寒暖差もあり、体調を崩しやすい時期かと思いますが、実は私も喉を痛めてしまい、声が出ませんので、AI音声で代読してもらいます。イントネーションがおかしなところもありますが、お許し頂けますようお願い致します。

さて、一昨日の5月16日は、七十二候で「竹笋生（たけのこしょうず）」と呼ばれる頃でした。文字通り、「竹の子が地表に顔を出す頃」という意味です。

春先に旬を迎える孟宗竹とは異なり、この時期に芽吹くのは主に日本古来の真竹です。真竹は成長が非常に早く、条件が良ければ1日に1メートルほど伸びることもあるそうです。真っ直ぐ天に向かって伸びていくその姿には、たくましい生命力を感じますし、竹が節を重ねながら成長していく様子は、人の人生にもどこか通じるものがあるように思います。

実は、この「竹笋生」の頃に生まれた我が家の2人目の孫が、明日5月19日で満1歳になります。先日、初節句と一升餅のお祝いをいたしました。よく食べ、よく寝て、まさに竹の子のようにすくすくと育ち、2歳上のお兄ちゃんに追いつきそうな勢いです。

そんな孫たちの成長を見ておられますと、もうすぐ「人生七十古来稀なり」と言われる年齢を迎える私も、大いに元気をもらっております。

一方で、日本全体に目を向けますと、少子化は大きな課題です。未来を担う子どもたちの数が減っているという現実には、寂しさを感じますが、子どもたちの笑顔や成長する姿は、私たち大人に希望や活力を与えてくれる存在でもあります。

子どもたちが健やかに育ち、夢や感性を豊かに育ていける社会を、地域みんなで支えていくことが大切だと思います。

本日のクラブフォーラムは、青少年奉仕委員会さんに

(2)

お世話を頂き、刈谷音楽協会さんのご紹介と演奏をお聞かせ頂けるということです。

音楽は、子どもたちの感性や心を豊かに育てる大切な力の一つだと思っています。刈谷ロータリークラブもご支援している「学校訪問コンサート」でも、音楽協会さんの素晴らしい演奏と子どもたちの合唱に、私自身大きな感動を覚えました。ロータリークラブの活動が、地域の子どもの成長のお役に立てていることが分かり、とても嬉しく思いました。

本日も、楽しみにしています。どうぞよろしくお願い致します。

刈谷市中央図書館へロータリー文庫贈呈



戸松 昭則 様

小堤西池のカキツバタを守る会へ支援金贈呈



カキツバタを守る会 会長 近藤 孝明 様
副会長 近藤 修 様

新 会 員 紹 介

氏 名 谷口 寛治
生年月日 昭和48年4月12日
推 薦 者 盛田 豊一 会員
職業分類 企業保険
事業所名 日本生命保険相互会社
役 職 名 刈谷支社長
所属委員会 会場委員会



卓話

刈谷音楽協会 前理事長 加藤美代子 様



皆様、こんにちは、只今ご紹介頂きました音楽協会の加藤美代子です。先週、協会の総会がございまして、理事長を退任致しましたので、元理事長ということで、本日はよろしくお願ひ致します。

この度、この様なお話の機会を頂きまして、はじめはとても迷いました。刈谷の経済を牽引していらっしゃる刈谷ロータリークラブの方々を前にして、音楽協会の私が何を話してできるのだろうかかと心配でした。ですが、協会設立時よりお世話になり、今現在も学校訪問事業で大変ご支援を頂いているロータリークラブの皆様にお礼と報告を兼ねてお話ができればと思い、受けさせて頂きました。

本日は3つの項目で、演奏を交えてお話させて頂きます。

1. ロータリークラブ様と音楽協会とのご縁
2. 学校訪問コンサートの経過と現状
3. 音楽の力

1. 刈谷音楽協会は、2004年、刈谷を音楽の盛んな街にしたい、音楽の薫る街「刈谷」を目指して、刈谷市とその近郊で活動をしている音楽家が集まって立ち上げた協会です。その際に地元の多くの皆様にご協力を頂きました。ロータリークラブ様にもご支援を頂き、会の顧問として、またその当時の会員様数名の方に個人会員にもなりました。

その上に、ロータリークラブバンドさんには、周年事業のパーティー会場での演奏、また協会事業で、毎年10月にハイウェイオアシスで行われる、刈谷音楽協会の日におきましてオープニング演奏として花を添えて頂いております。いつもご協力ありがとうございます。

2. 次に学校訪問コンサートの経過と現状を説明させて頂きます。電子音のあふれる現代に、子供たちに何とか生演奏を聞かせたいという、強い思いで始めたコンサートです。昨年度は、学校側から、教科書に記載されている鑑賞曲を生演奏で聞かせたいという希望が多かったようです。その中の1曲を後ほど聞いて頂きます。

2009年度…刈谷ロータリークラブ様の地域貢献の一環として始まる。

音楽協会前理事長、渡利様がロータリークラブの一員であり提案。

1 巡目 1年間で3校ずつ5年かけて全15校を訪問。

2014年度…主催が刈谷ロータリークラブ、刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センターになる。

2 巡目 1年間で3校ずつ5年かけて15校を訪問。

2018年度…ウインドアンサンブルの演奏で行う。

総合文化センターのプラスプロジェクトが中

心となる。

2018年度4校 2019年度2校で実施。

2020年度…新型コロナウイルスの影響で中断。

2023年度…2校で実施することが叶う。

刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター主催。

2024年度…刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市総合文化センター主催、刈谷ロータリークラブ協賛により、以前のように年に5校ずつ訪問することが出来るようになる。

2025年度…5校訪問 朝日、衣浦、かりがね、亀城、富士松北小学校*写真紹介

2026年度…5校の日程調整中

子供のころに聞いた生演奏は、本当に印象深いものがあります。刈谷市の将来の音楽文化を担う子供たちに是非続けていきたい大切な事業です。

今後ともご支援をよろしくお願ひ致します。

それでは、ここで、演奏を聞いて頂きましょう。

*演奏者の紹介

- ♪演奏…春の歌 メンデルスゾーン作曲 無言歌集より
 - ♪演奏…白鳥 サンサーンス作曲「動物の謝肉祭」より
 - ♪演奏…浜辺の歌・椰子の実・朧月夜 日本抒情歌メドレー
3. 最後に聞かれた日本の抒情歌メドレーから、情景が思い浮かび、イメージされた方も多いかと思います。

この曲を聞いた幼いころの自分を思い出した方も、またその時の感情を思い出した方もみえると思います。音楽は、私達を、元気づけたり、癒しを与えてくれるほかに、このように記憶を呼び戻す力もあります。物事を思い出したり、感情が刺激され心を動かす、こういった音楽の力について少しかお話ししたいと思います。こちらの会場にいらっしゃる方には、無縁だと思えますが、音楽が認知症を予防することが分かっています。

日本は超高齢化社会に突入しています。65歳以上の高齢者の内、5人に1人が認知症にかかるといわれています。決して他人事ではありません。

認知症で一番多いのは、ご存知だと思いますが、アルツハイマー型認知症です。これはβアミロイドの蓄積を抑えることで進行を遅らせることが出来るといわれています。その予防には脳の血流を高めることが最も有効であることが、わかっています。では、どうしたら血流を高められるのか…。

それには、なんと楽器演奏や歌うことが大きな可能性を秘めているそうです。「日本認知症予防学会」が楽器の演奏は認知症予防の効果あり、グレードA判定と認定しています。

音楽を聴く、これは右脳がよく働きます。そして楽器を演奏する事は、運動領域も活性化しますので前頭葉や側頭葉も同時に働く、そのうえ歌を歌いながら演奏となると、左脳も活性化して益々血流が増すということです。楽器の演奏が難しい場合にも、歌いながら手拍子など運動を交えることでも活性化するそうです。

音楽の力ということで、少し関係のないお話をさせ

て頂きました。

最後は懐かしい1曲を歌って閉めたいと思います。
よろしければご参加ください。本日は、拙い話を聞いて
頂きまして、誠にありがとうございました。

♪演奏…あの素晴らしい愛をもう一度

